

第 16 回年次大会 分科会発表募集要綱

< “まなびあい” とは？ >

コミュニティ福祉学部と卒業生をつなぐ「現場と大学」の架け橋の役割を目指して 2007 年に設立された、学生・卒業生・教員が互いに語り考え学びあう場です。専門の研究者が集うアカデミックな学会とは異なり、知識だけではなく、知恵を出し合う場、現場での思いを分かち合う場、新たな力を得て再び現場に立ち戻っていけるようなヒントを得る場であり、「まなび（学）あい（会）」と「実践と研究の交流の場」をコンセプトに、年次大会や例会を企画し実施しています。^{*}会員は、学生・卒業生・教員・一般からなり、登録会員は、まなびあい関連の情報をいち早く知ることができるとともに、学会誌『まなびあい』を無料で入手することができます。

^{*}学生は全員会員となります。「登録会員」は随時登録可能。会員登録についての問い合わせは、下記先事務局までお気軽にご連絡ください。

< 分科会発表募集について >

分科会では、テーマを設けず自由演題発表として、皆さんからの発表を下記の通り募集致します。発表を通じて、発表者・参加者同士が意見を交わし互いに学びあう場を目指しています。普段聞く機会のない他学科生や卒業生の意見・見解を聞けるチャンスでもあります。是非、授業以外での発表の場や研究のまとめの機会として、卒論の中間発表として、分科会での発表をご活用ください。お申込みをお待ちしております。

cf) 過去の発表例：「無縁社会と震災―震災時に孤立している人への支援―」（福祉学科）
「持続可能な地域活性化の事例報告―埼玉県小川町での活動から―」（コミュニティ政策学科）
「スポーツパフォーマンスを向上させるために～モチベーションビデオを通して考える～」(スポーツウエルネス学科)
「脱・精神科病院化を推進するためにこれから行っていくべき認知症治療の行方」（卒業生）

< 大会概要 >

■期日 2023 年 12 月 2 日（土）13:00～19:00（予定）
■場所 立教大学 新座キャンパス

< 分科会概要 >

■発表形式 個人発表、団体発表 ex) ゼミ活動の報告、卒論の中間発表、卒業生の現場の声
■発表時間 質疑応答を含め 20 分程度。発表数により、調整されることがあります。ご希望がある場合はご相談ください。
■申込み方法 以下の方法で Google フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
※バーコードを読み取るか、あるいは、click してください。



■締め切り 2023 年 8 月 4 日（金）12 時まで

※分科会発表者は、当日の発表について、後日 1000 字～2000 字程度で報告書をご提出いただきたく存じます。
学会の報告として、来年度の学会誌『まなびあい』に掲載させていただく予定です。

こちらにつきましては、大会後、改めてご連絡させていただきます。

※発表の時間枠が限られているため、応募状況によって、学会運営委員会にて発表可否について検討させていただくことがあります。発表可否、詳細については、10 月上旬頃に発表代表者へメールにてご連絡いたします。

■お問い合わせ コミュニティ福祉学会運営委員会事務局(担当：増田) E-Mail：cchs@rikkyo.ac.jp